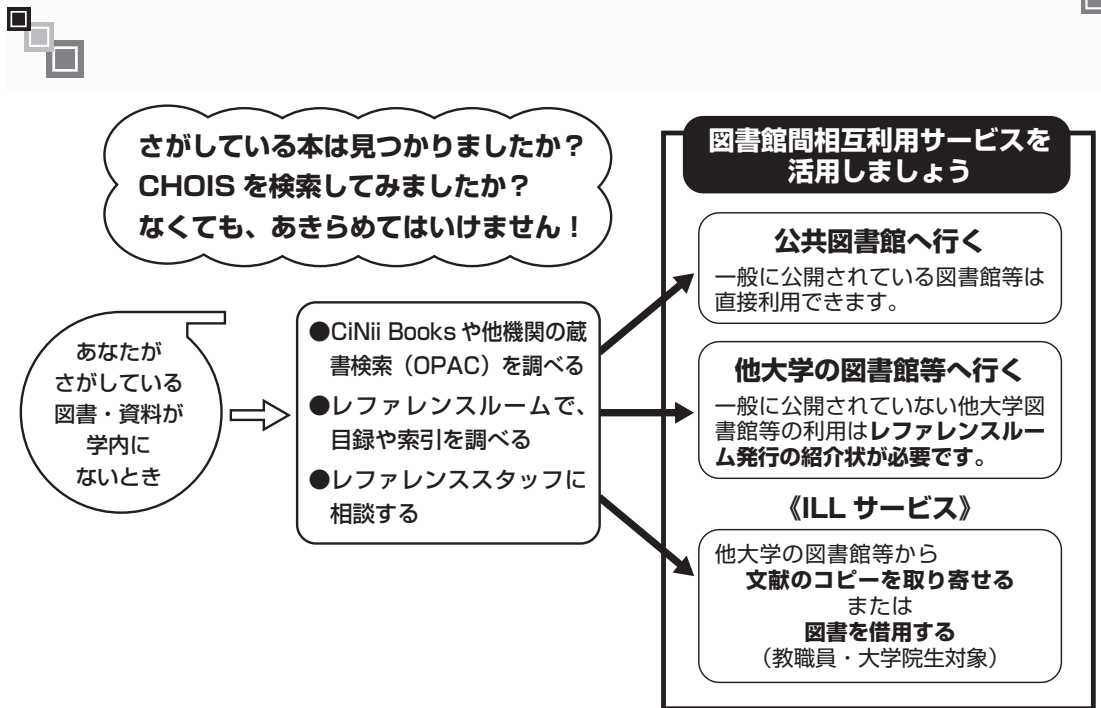


第14章 学内に所蔵しない図書・資料の利用方法



さがしている資料が中央大学に所蔵されていない場合は、他機関の所蔵情報を調べてみましょう。P.11の「学外に所蔵する図書・資料のさがし方」や、P.56の「他機関を紹介した資料およびウェブサイト」が参考になります。CiNii Books や他機関の蔵書検索（OPAC）等で資料の所蔵館が確認できたら、図書館間相互利用サービスにより、下記の方法で利用できます。

1. 所蔵機関へ行って閲覧・コピーをする
2. 所蔵機関から文献のコピーを取り寄せる
3. 所蔵機関から図書を借用する（※教職員・大学院生対象）

*特に2. 文献複写の取り寄せと、3. 図書現物の借用に関するサービスのことを ILL (Inter Library Loan) サービスといいます。

以下では、図書館間相互利用サービスのそれぞれについて詳しくご紹介します。

14-1 他機関の訪問利用

本学図書館が発行する「利用紹介状」を持って学外の機関を訪問することにより、閲覧・複写サービスを受けられます。公共図書館以外の多くの機関は、図書館発行の紹介状が必要です。レファレンスカウンターにてお申込みください。

学外機関との相互利用は、それぞれの機関の好意により成り立つものですから、利用するには訪問先の機関の都合や利用規則に従うことが大切です。後日また気持ちよく訪問させていただくためにも、ルールとマナーを守って利用しましょう。

< 注意点 >

- 所蔵機関へ利用希望日と所蔵状況の確認をします。回答が来てから紹介状を書きますので、利用希望日前1～2日ほどのゆとりをもってお申込みください。
- 所蔵館訪問の際は、「紹介状」と「身分証（学生証）」を必ず持参してください。
- 利用は、原則として申込時に指定した文献のみです。
- 利用に際しては、所蔵館の指示に従ってください。

14-2 他機関からの文献複写取り寄せ

CiNii Books や、他機関の蔵書検索 (OPAC) など調べて資料を所蔵している機関がわかったら、その情報 (検索画面のコピーなど) をレファレンスカウンターにお持ちください。文献コピーを郵送で取り寄せることができます。

コピーを取り寄せるためには、文献の正確な書誌情報 (著者名、論文名、雑誌名、巻号、刊行年、ページなど。P.57 参照) が必要です。国内に所蔵がない場合は、海外の機関にも複写を申込みことができます。

< 注意点 >

- コピーの実費 (1枚につき 30～50円前後) と郵送料は申込者の負担となります。
- 文献の到着まで通常 1週間ほどかかります。
- 著作権法上、コピーできるのは著作の一部分です。(発行後相当期間を経過した雑誌は論文全体をコピーできます。)

14-3 他機関からの図書借用 (教職員・大学院生対象)

一部の学外機関からは図書を借用することができます。CiNii Books や、他機関の蔵書検索 (OPAC) など調べて、その情報 (検索画面のコピーなど) をレファレンスカウンターにお持ちください。

このサービスは、教職員・大学院生を対象としたサービスです。学部学生の方は、原則、紹介状の発行を受けて他機関を訪問してください。

< 注意点 >

- 借用図書の利用は、館内閲覧に限ります。貸出や研究室への持ち出しはできません。
- 往復の郵送料は申込者の負担になります。
- 図書の到着まで通常 1週間ほどかかります。
- 一般に、雑誌や参考図書、貴重図書は借用できません。
- 返却期限が決められていますので、それを厳守してください。

14-4 CHOIS を通じた文献複写・図書借用申込 (教職員・大学院生対象)

図書館に来館いただかなくても、本学の CHOIS を通じて他機関からの複写取り寄せ、図書の貸借を申込みことができます。通常の窓口時間以外にも申込ができますのでぜひご利用ください。なお、CHOIS を通じての申込は、教職員・

大学院生が対象となります。ご希望の方はレファレンスカウンターにて事前登録が必要です。詳細は、図書館ホームページをご覧ください。レファレンスカウンターまでお問い合わせください。

コラム ②

国立国会図書館の「登録利用者制度」について

中央大学図書館のサービスではありませんが、国立国会図書館では、同館が所蔵する文献の複写物を自宅へ郵送するサービスを行っています。国立国会図書館ホームページ内の NDL ONLINE から、オンラインによる文献複写の申込みができます。

サービスを受けるには、国立国会図書館の利用者登録が必要です。詳しくは下記のページをご覧ください。

<http://www.ndl.go.jp/jp/information/guide.html>

他機関を紹介した資料およびウェブサイト

他の類縁機関を調べるのに次のような資料やウェブサイトがあります。

- 図書館リンク集 <<http://www.jla.or.jp/link/>>
日本図書館協会提供。全国の図書館へリンクが張られています。
- インターネットミュージアム <<http://www.museum.or.jp/>>
日本全国の美術館、博物館、ギャラリーなどを網羅したデータベースです。



資料名	内容	請求記号と所在
情報収集・問題解決のための図書館ナレッジガイドブック：類縁機関名簿 東京都立中央図書館（2005）	都内および近県に位置する専門図書館・大学図書館・研究資料室などを収録。東京都立中央図書館ホームページの「専門図書館ガイド」からもみることができる。	M018/To46 参考・中央・社情
東京都の図書館 馬場萬夫ほか	23区編（2000）と三多摩編（1997）とがある。いくつかの県の図書館については、「県別図書館案内シリーズ」が刊行されている。	M010.21/B12 参考・社情
全国特殊コレクション要覧 国立国会図書館参考書誌部（1977）	公共図書館、大学図書館などの特殊コレクションを収録 Web上で更新版を公開 < http://crd.ndl.go.jp/jp/library/collistall.html >	M010.35/Ko49 参考・日史
個人文庫事典 日外アソシエーツ（2005）	全国の個人文庫の所在地、旧蔵者情報、沿革、資料の特徴を収録	M010.35/N71 参考
全国図書館案内 書誌研究懇話会（1990）	全国の公立・私立大学図書館、文書館、資料館、博物館の所蔵文献のうち、特殊資料、個人コレクションなどを紹介	M010.36/Sh96 参考
日本の図書館 日本図書館協会（年刊）	国立国会図書館をはじめ全国の公共図書館、大学図書館を収録	M010.591/N77 参考・中央・社情
国立国会図書館百科 国立国会図書館百科編集委員会（1988）	機能説明、所蔵資料の概説やコレクションの紹介	M016.11/Ko49 参考 016.11/Ko49 社情
専門情報機関総覧 専門図書館協議会（2018）	特定の分野の情報、資料を収集している専門機関を収録	M018/Se69 参考・中央・社情
人物記念館事典 日外アソシエーツ編集部（2002）	特定の人物の業績を記念・顕彰・展示している全国の個人記念館・美術館・資料館を収録	M069/N71 参考
日本全国歴史博物館事典 日外アソシエーツ編集部（2018）	日本全国の歴史博物館、資料館、記念館	M069/N71 参考
郷土博物館事典 日外アソシエーツ（2012）	郷土をテーマにした全国の博物館、歴史民俗資料館を収録	M069.8/N71 参考
歴史資料保存機関総覧 東日本、西日本 地方史研究協議会（1990）	各地に点在する史・資料の保存機関（文書館、史料館、民俗館、博物館、美術館）で公開されている史・資料の内容を紹介	M210.03/C43 参考・日本史
もっと楽しむ図書館マスターガイド キョーハンブックス（2012）	専門図書館、公立図書館など都内を中心に約700館を紹介	M010.21/Mo95 参考